

2025年度 大学院(修士課程)入学試験問題

(科目名:税法)

(法学研究科)

2024年9月7日(土)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

次の問題1・問題2とも解答せよ

【問題1】

法人の課税所得計算における、いわゆる「確定決算主義」について検討しなさい。

【問題2】

X(夫、医師)は、平成元年にA(妻、専業主婦)と結婚したが、この度離婚することになり協議が成立した。離婚に伴う財産分与として、Xが20年前に取得し、婚姻期間中住んでいた居住用不動産をA名義に変更する予定である。(この居住用不動産には値上り益があるものとする。)

この場合、X・A各々についてどのような課税問題が生じるか、理由を含め関連する判例に言及の上、検討しなさい。